
レスキューメール

優

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

レスキューメール

【Nコード】

N2816B

【作者名】

優

【あらすじ】

退屈な高校生、剛が手にしたのはこの後起きる事件がわかるという内容の紙だった。

俺の名前は剛つよし

私立高校に通う3年生だ。毎日が退屈で、勉強も全然していない。しかし、こんな俺でも将来の夢はある。

俺は将来レスキュー隊に入って人を助けるのだ。

そのためにはちゃんと大学に行って、レスキュー隊に入るための勉強をしなければならない。

今年受験なのだ！よし、今日はちゃんと勉強しよう！

学校が終わり、家に着いた。新聞入れに紙が入っていた。その紙には、こう書かれていた。

“レスキューメール”

なんだこれ？いたずらか？内容は、

「この後あなたの周りで起きる事件。送信します。」

なんだか怪しい内容だ。どうせ他人の個人情報を知りたいだけだろう？

「ふん！バカバカしい！」

家に帰り、その紙をごみ箱に捨てた。

しかし、もしこれが本当の事ならたくさんの人を救うことができる。

急いでごみ箱から紙を取り出す。そして、このサイトに自分のメールアドレスを登録した。

半信半疑だったが本当のことが知りたかった。

いたずらなのか、本当の事なのか。

しばらくテレビをみて時間をつぶすことにした。

1時間くらいが経過し、メールの着信音がピロピロと鳴った。

「誰からだ？今、良いところなのに。」

受信メールを確認した。

受信メールには

「レスキューメール送信します。」

と書いてあった。その下に、

「本日18時、〇〇マンションの屋上で殺人事件が発生します。」
と書いてあった。

「〇〇マンション？隣のマンションじゃないか！」

とりあえず五時半にマンションの屋上に行ってみた。

「さあて、本当に殺人事件が起きるのか？」

俺は六時ちょうどに、アラームをセットしてしばらくボーとしていた。

六時のアラームが鳴った。

「なんだ、何も起きないじゃないか。期待して損した！」

そう言い残して帰ろうとした瞬間、ナイフみたいなもので背中を刺された。

意識がもうろうとしていく中、俺はやっとレスキューメールの意味に気が付いた。レスキューメールで好奇心のある人を狙って殺人をする、無差別殺人だったのだ。

「もっと早く気が付いていれば。」

みなさんも好奇心だけで知らない所にアクセスしないほうがいいですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2816b/>

レスキューメール

2010年10月11日12時08分発行